

令和 7 年 5 月 2 日

長野県知事 様

## 令和 7 年度長野県産業廃棄物 3 R 実践計画書

下記のとおり、産業廃棄物 3 R 実践計画書を提出します。

|                                  |                              |                |
|----------------------------------|------------------------------|----------------|
| 協定期間                             | 令和 7 年度から令和 7 年度             |                |
| 会 社 名                            | 安保塗装株式会社                     |                |
| 住 所                              | 〒390-0805<br>長野県松本市清水2-11-51 |                |
| 代 表 者 名                          | 代表取締役 安保 充彦                  |                |
| 業 種                              | 製造業 ・ 建設業                    |                |
| 処 理 施 設<br>所 在 地<br>(処理施設を有する場合) | 施設名<br>該当なし                  | 所 在 地          |
| 担 当 部 署                          | 工 事 部                        |                |
| 担 当 者 名                          | 小 松 温                        |                |
| 連 絡 先                            | T E L                        | 0263-32-4202   |
|                                  | F A X                        | 0263-77-8822   |
|                                  | 電子メールアドレス                    | info@abo-p.com |
| ホームページアドレス                       | https://www.abo-p.com        |                |

## 1 産業廃棄物 3 R 実践方針

本年も引き続き産業廃棄物 3 Rに取り組めます。

排出量は、工種又は工事内容によって異なり年度ごとの比較は困難だが、現場毎産業廃棄物の発生を最小限に抑えるよう努め、分別やリサイクルに取り組めます。

## 2 排出抑制、リサイクルのための目標値及び過年度実績値

|                                    | R7 年度目標値      | R6 年度実績値      | R5 年度実績値      | R4 年度実績値    |
|------------------------------------|---------------|---------------|---------------|-------------|
| 総排出量の推移<br>(t・kg・ $\text{m}^3$ )   | 48.0          | 49.7          | 69.18         | 63.23       |
| リサイクル量の推移<br>(t・kg・ $\text{m}^3$ ) | 40.0          | 37.20         | 43.32         | 46.2        |
| 売上高の推移<br>(円)                      | 1,300,000,000 | 1,299,834,000 | 1,064,947,000 | 879,581,000 |

### 3 排出抑制、リサイクルのための取組内容

- ・循環式プラスト工法の施工普及により一層取り組み、産業廃棄物の削減に貢献する。
- ・適正工事による材料・資材の使用を慎重に行い、産業廃棄物削減に努める。
- ・工場稼働に伴う産業廃棄物に対し、分別を徹底しリサイクル資源としての価値を見出し有効活用できるよう心掛ける。
- ・社内情報共有はデータにて共有し、印刷物の削減に努める。使用したコピー紙につきては、再利用を徹底する。

以下の観点も参考としていただいて構いません。（必要に応じ写真等を添付してください。）

- ・産業廃棄物処理責任者等
- ・産業廃棄物の種類、排出量、処理量、処理の方法等に関する情報公開
- ・産業廃棄物処理施設の地域への公開、説明（処理施設を有する場合）
- ・処理を委託する処理業者（施設）の現地確認計画
- ・従業員教育（研修）計画
- ・リサイクル促進に向けた取組（計画段階、実施段階での工夫など）
- ・処理委託した廃棄物について、不法投棄・不適正処理が生じた場合の排出事業者責任の徹底
- ・不適正処理を発見した場合の協力体制
- ・自社処理廃棄物の管理方法（自社処理を行っている場合）
- ・独自に取り組む事項

代替素材への転換（化石燃料由来プラスチック製品等からバイオマスプラスチックなど環境負荷の低い素材や製品へ転換していくこと）、環境認証制度等の取得（環境 ISO 14001、エコアクション 21 等）、電子マニフェスト（公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター）の導入等。

### 4 リサイクル製品使用率目標値

※リサイクル製品使用率＝リサイクル製品（材料）使用量／全体材料使用量（％）

| 製品（材料）種別 | 当年度目標値 | 過年度実績値 |       |       |
|----------|--------|--------|-------|-------|
|          | 年度目標値  | 年度実績値  | 年度実績値 | 年度実績値 |
|          |        |        |       |       |
|          |        |        |       |       |
|          |        |        |       |       |
|          |        |        |       |       |
| 全 体      |        |        |       |       |